

**[業界別レポート]
働く人と職場2018
－ドライバー編－**

2018年3月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

[業界別レポート] 働く人と職場 2018 – ドライバー編 – とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2018」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートはドライバーを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ドライバーでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ドライバーでの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
1. 仕事の選択理由	3
2. 仕事を継続する理由	5
3. 離職の理由	7
4. 必要を感じる改善点	9
5. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

- 調査名 : 特定業種に関する調査
- 調査目的 : 求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- 調査方法 : インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- 調査期間 : 2017年9月27日（水）～9月29日（金）
企業側のみ追加調査 2017年10月27日（金）～11月13日（月）
- 調査対象 : 20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - 現在、対象業種に従事している人
 - 過去に対象業種に従事したことがある人
 - これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - 現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（課長・店長以上）・経営層、かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はドライバーの、計801人。

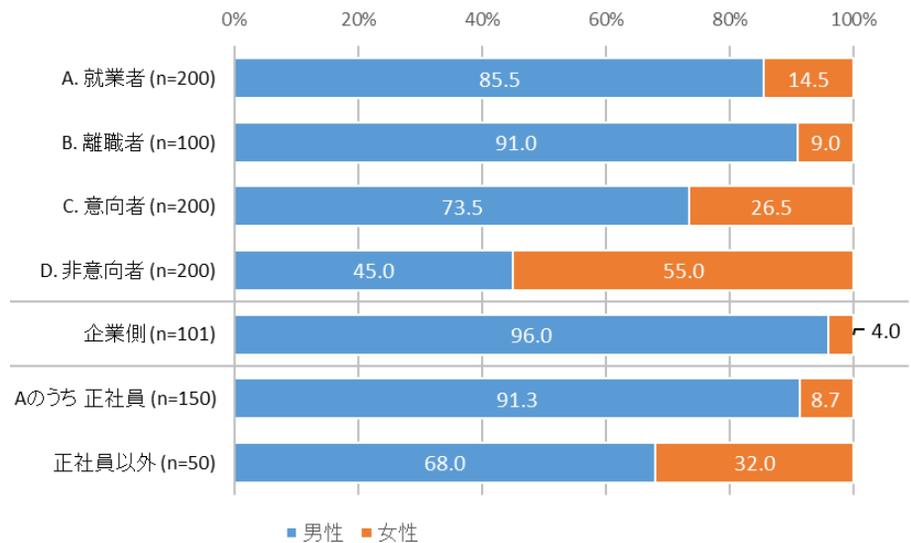
	個人側				企業側	
	就業経験者		就業非経験者			
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者		
コンビニエンスストア	200	100	200	200	4	
ホテル・旅館	200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11
	居酒屋	156	100	200	200	13
アパレル・雑貨販売	200	100	200	200	21	
介護サービス	200	100	200	200	43	
ドライバー	200	100	200	200	101	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

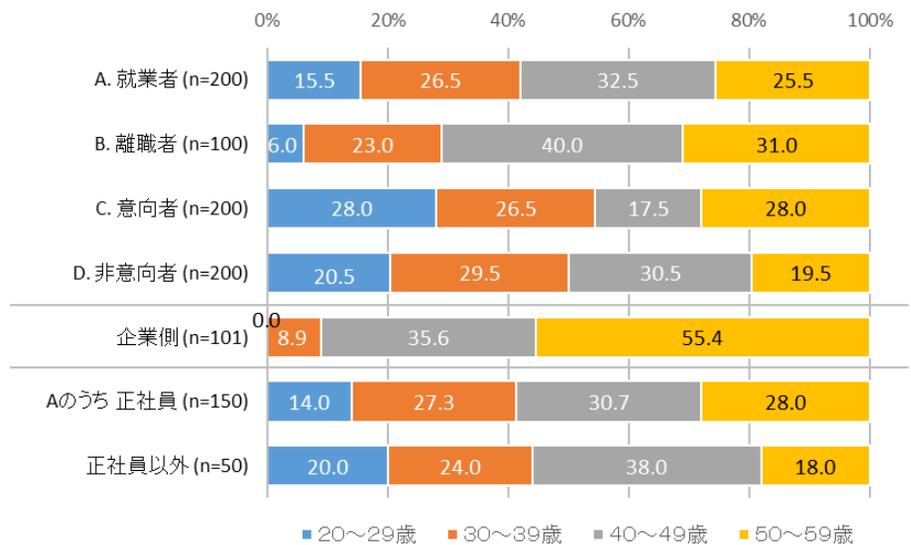
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。非意向者以外はいずれのセグメントも男性の比率が高い。A. 就業者、B. 離職者、企業側、Aのうち正社員※1では、8割以上が男性となっている。ただし、正社員以外※2では女性が約3割いる。



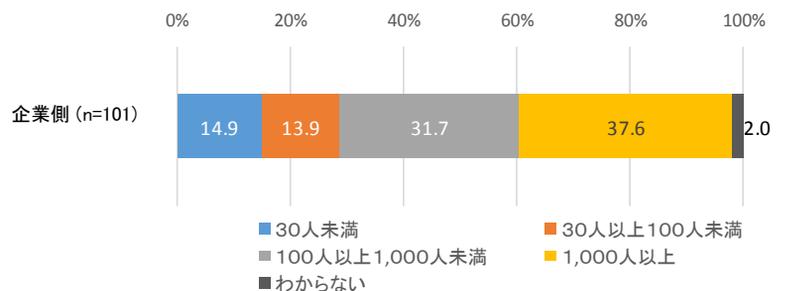
■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A. 就業者は40代が32.5%でもっとも多く、次いで30代、50代が多い。企業側は50代がもっとも多く、5割を超えている。



■ 従業員規模

企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。1,000人以上が37.6%、100人以上1,000人未満が31.7%などとなっている。



※1 自営業者などを含む。

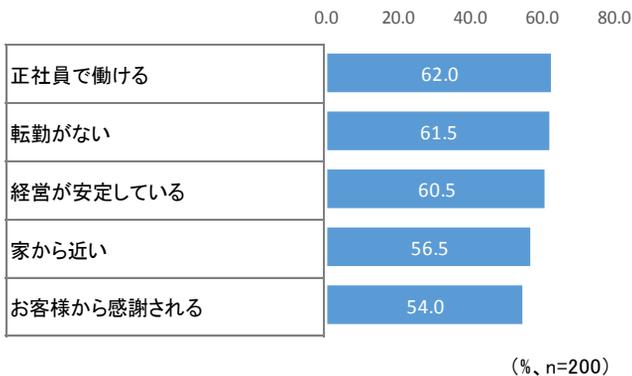
※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。

1. 仕事の選択理由

A. 就業者と企業側

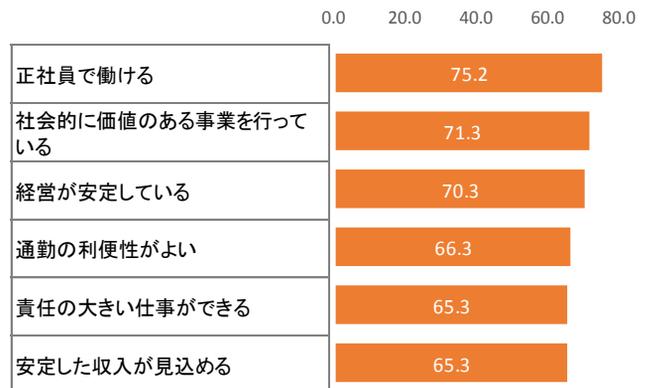
■ A. 就業者の上位5項目

就業者が現在の仕事を選んだ理由として上位にあがったのは、「正社員で働ける」「転勤がない」「経営が安定している」など。安定して働けることが重視されていると考えられる。



■ 企業側の上位5項目

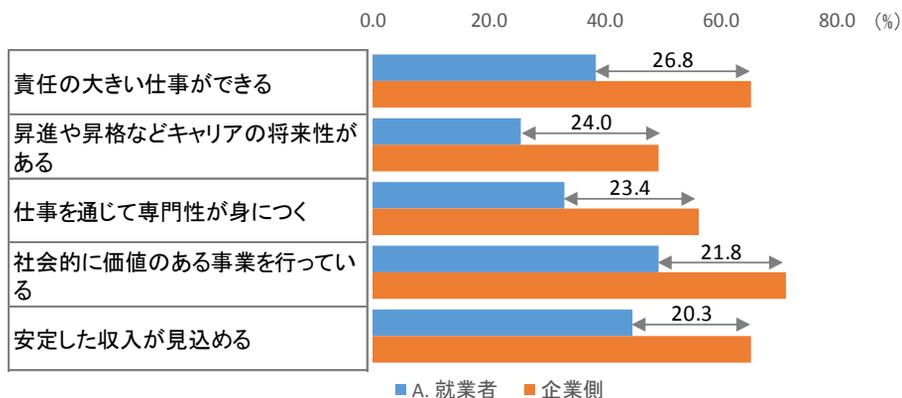
企業側が考える理由は、「正社員で働ける」「社会的に価値のある事業を行っている」など。「正社員で働ける」「経営が安定している」は就業者と共通している。



(%, n=101)

■ A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

「責任の大きい仕事ができる」「昇進や昇格などキャリアの将来性がある」「仕事を通じて専門性が身につく」など、いずれも企業の方が選択理由として多いと考えている。

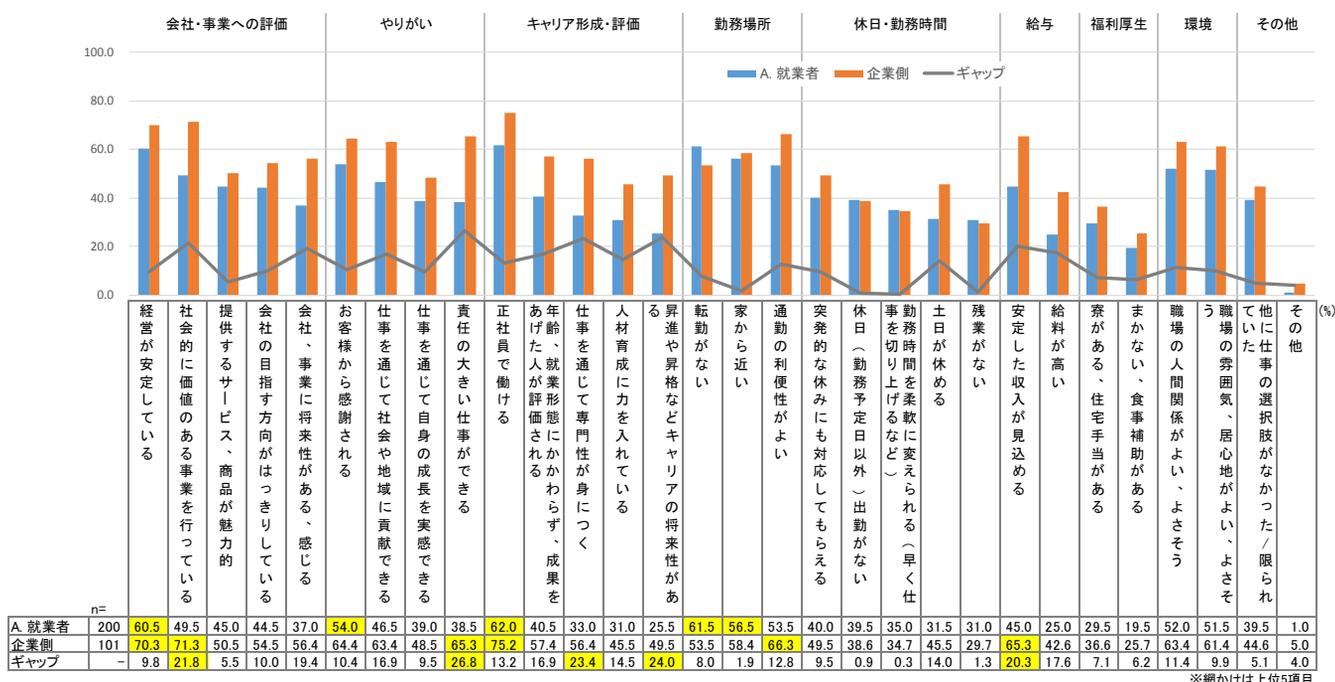


1. 仕事の選択理由

現在ドライバーとして働いている就業者と企業側に対して、就業者がその仕事を選んだ理由は何か（何だと思いか）聞いた。

就業者が現在の仕事を選んだ理由として上位にあがったのは、「正社員で働ける」「転勤がない」「経営が安定している」など。安定して働けることが重視されていると考えられる。一方で企業側の回答で多かったのは、「正社員で働ける」「社会的に価値のある事業を行っている」などで、「正社員で働ける」「経営が安定している」は就業者と共通している。

就業者と企業側でギャップが大きかった項目は「責任の大きい仕事ができる」「昇進や昇格などキャリアの将来性がある」「仕事を通じて専門性が身につく」などで、いずれも企業の方が選択理由として多いと考えている。全体に、企業側が考えているほど就業者が選択理由としていない項目が多い。



【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、営業所）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

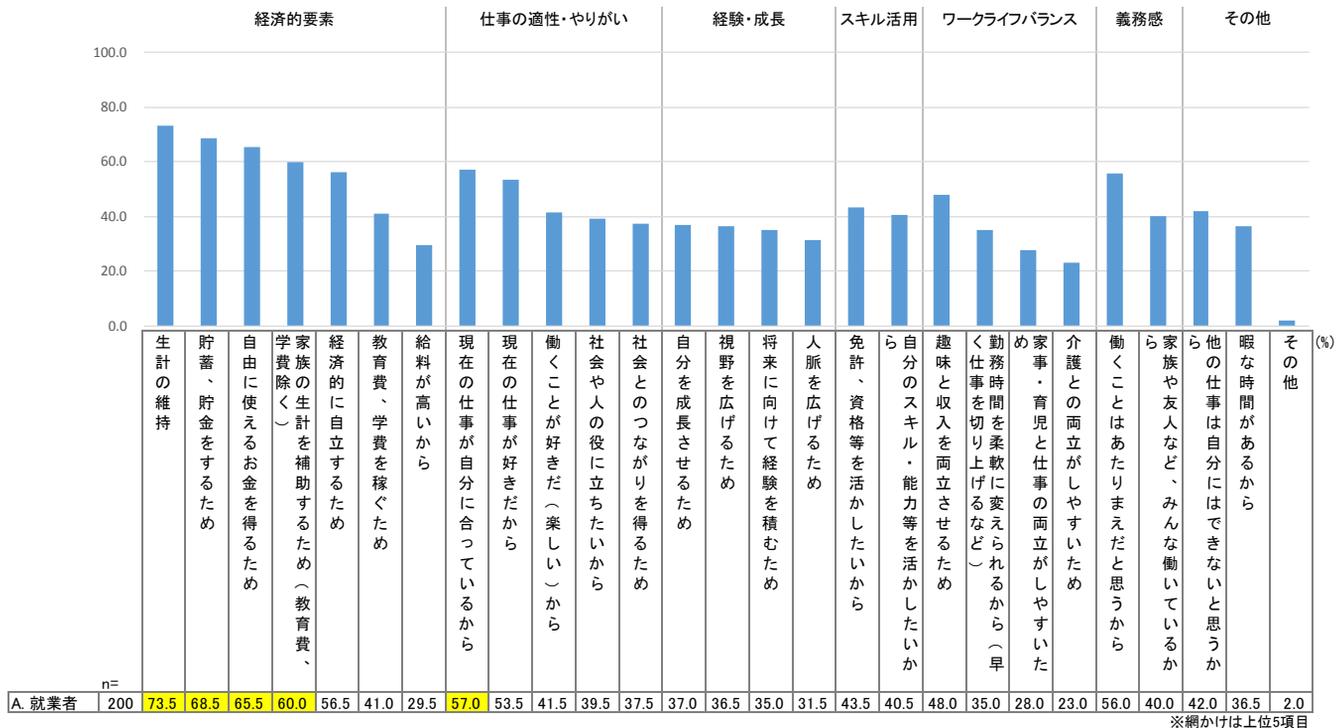
【企業側】

Q. 従業員の方々が、お勤めの会社を選んだ理由はどのようなことだと思われますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

就業者に、ドライバーとしての仕事を続けている理由を聞いた。上位5項目には「生計の維持」73.5%、「貯蓄、貯金をするため」68.5%などの経済的要素と、「現在の仕事が自分に合っているから」57.0%があがっている。経験・成長やワークライフバランスに関する項目は、全体的にあまり高くないと言えるだろう。



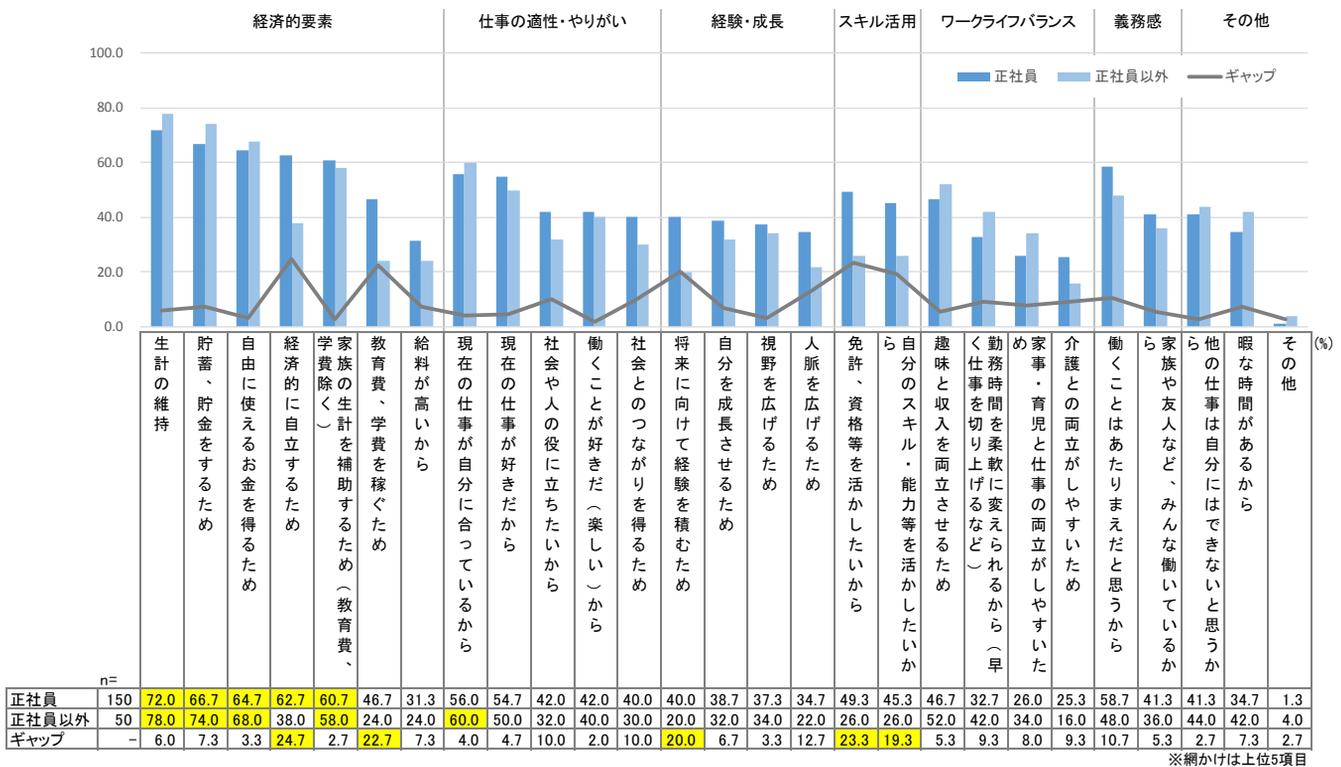
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「ドライバーの仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。
 (非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)

2. 仕事を継続する理由

ドライバーとして働き続ける理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者などを含む。）

正社員も正社員以外も、上位は経済的要素となる。両者のギャップが大きいのは、「経済的に自立するため」「教育費、学費を稼ぐため」「将来に向けて経験を積むため」「免許、資格等を活かしたいから」「自分のスキル・能力等を活かしたいから」などで、いずれも正社員の方が割合が高くなっている。



【A. 就業者】

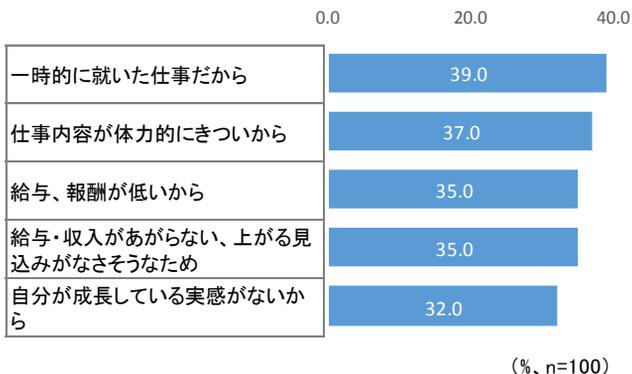
Q. あなたが現在、「ドライバーの仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

3. 離職の理由

B. 離職者と企業側

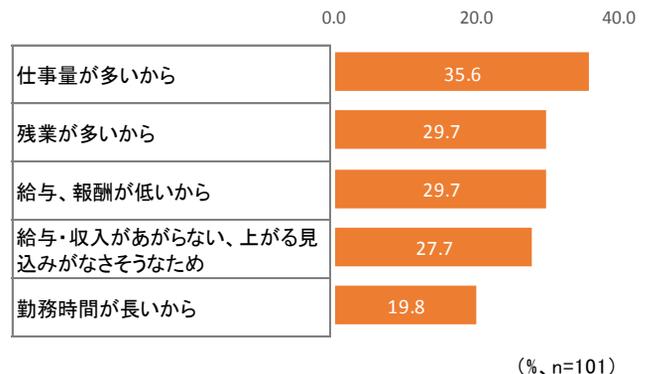
■ B. 離職者の上位5項目

過去にドライバーとして働いていたが離職した人の離職理由は、「一時的に就いた仕事だから」「仕事内容が体力的にきついから」「給与、報酬が低いから」など。



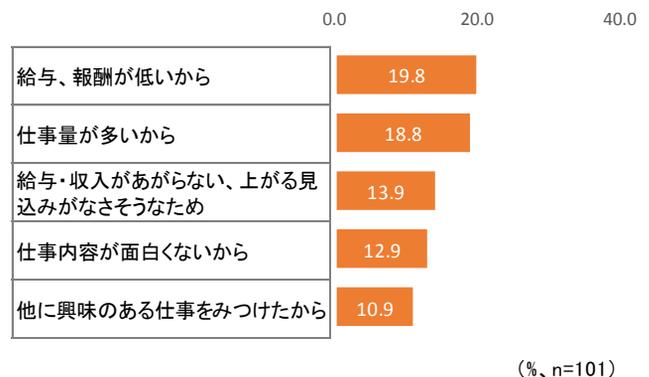
■ 企業側の上位5項目（正社員）

企業側が考えるドライバー（正社員）の離職理由は、「仕事量が多いから」「残業が多いから」「給与、報酬が低いから」など。給与面以外は離職者の回答と異なっている。

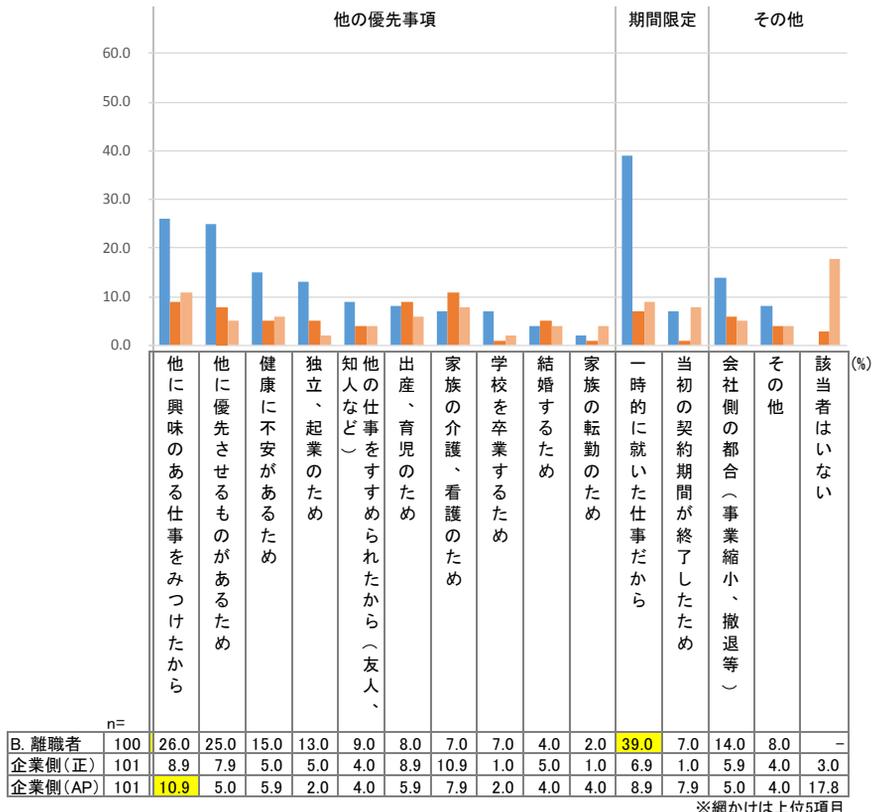
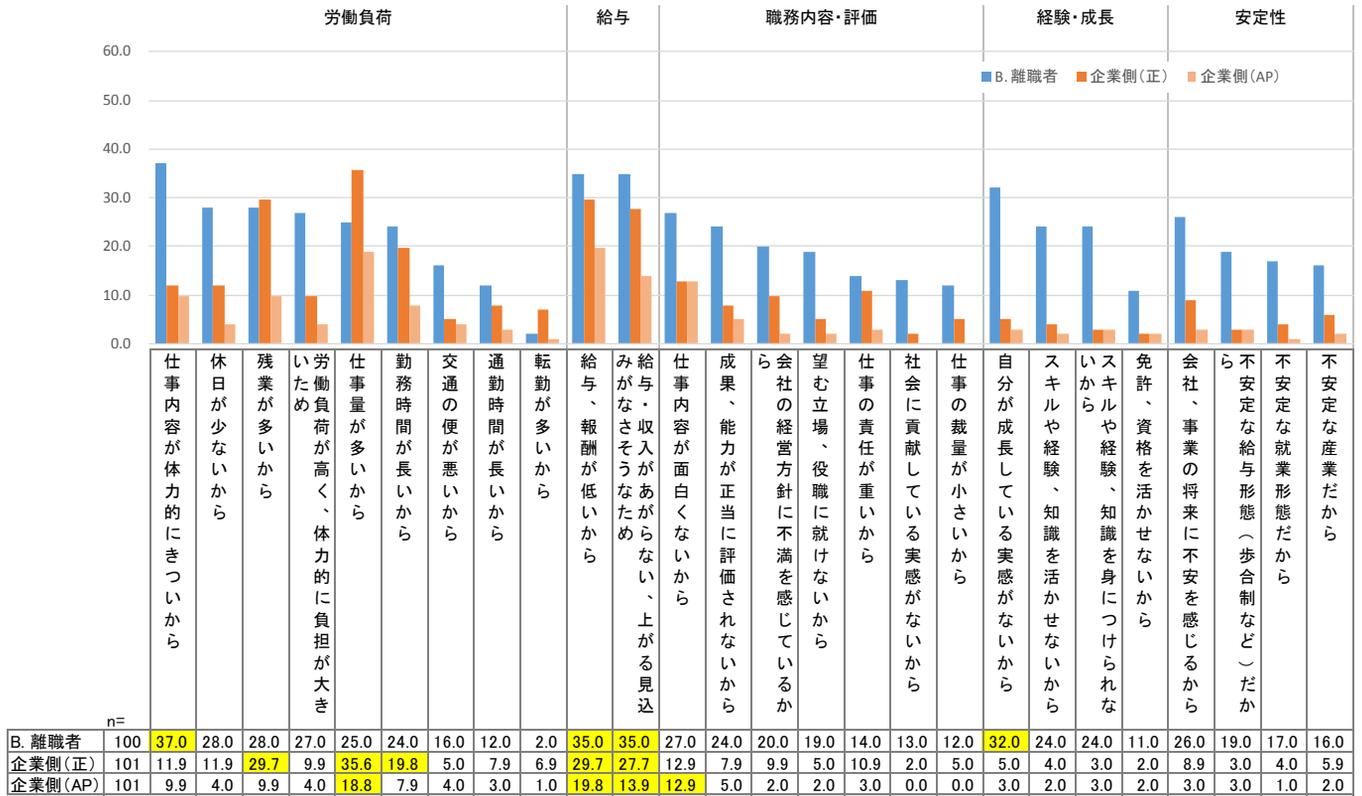


■ 企業側の上位5項目 （パート・アルバイト）

企業側が考えるドライバーの離職理由は、パート・アルバイトについても、給与面以外は離職者の回答と異なっている。



3. 離職の理由



【B. 離職者】
 Q. あなたが以前、「ドライバーの仕事」で働いていたにもかかわらず、離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)

【企業側】
 Q. 会社を辞めた従業員の方々が、会社を辞めた理由はどのようなことだと思いますか。（正社員、パート・アルバイト/MA)

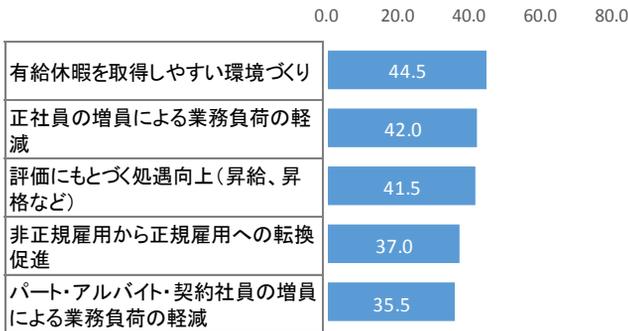
※網かけは上位5項目

4. 必要を感じる改善点

A. 就業者と企業側

■ A. 就業者の上位5項目

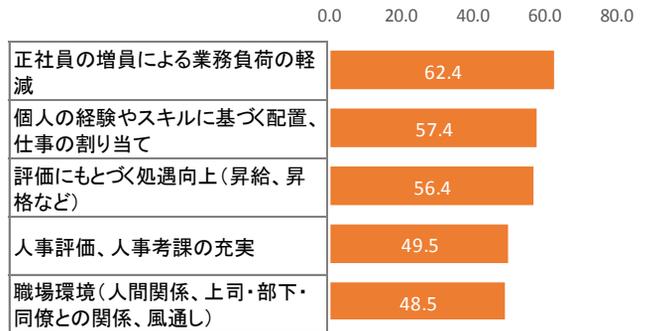
ドライバー就業者が必要を感じる改善点は、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「正社員の増員による業務負荷の軽減」など。離職者の離職理由でもあがった、給与面や業務負荷の面が上位にあがっている。



(%, n=200)

■ 企業側の上位5項目

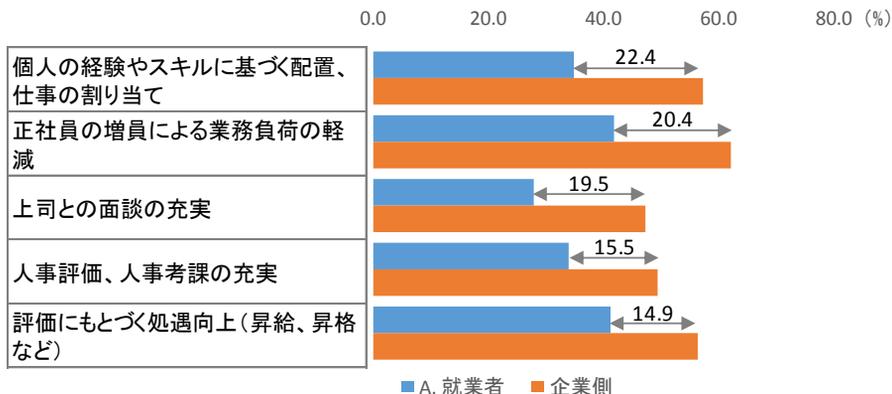
「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇向上(昇給、昇格など)」は、就業者が必要を感じる改善点と共通している。



(%, n=101)

■ A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「正社員の増員による業務負荷の軽減」「上司との面談の充実」など、いずれも企業の方が改善の必要を感じている。

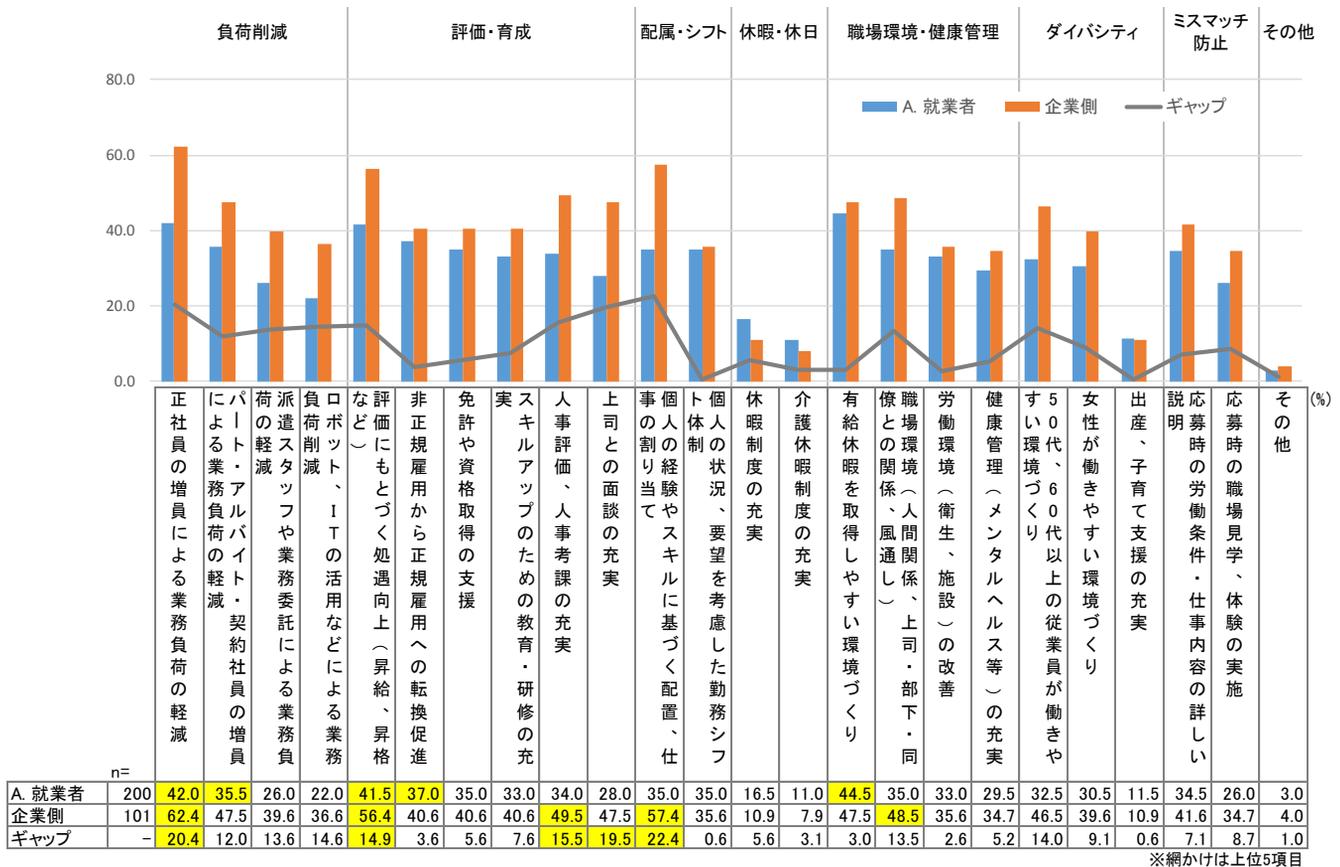


4. 必要を感じる改善点

勤務先で必要だと感じる改善点を、就業者と企業側に聞いた。

ドライバー就業者が必要を感じる改善点は、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「正社員の増員による業務負荷の軽減」など。離職者の離職理由としてもあがった、給与面と業務負荷の面が上位にあがっている。企業側をみると、上位項目のうち「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」は、就業者が必要を感じる改善点と共通している。

両者のギャップが大きい項目は、「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「正社員の増員による業務負荷の軽減」「上司との面談の充実」などで、いずれも企業の方が改善の必要を感じている。



【A. 就業者】

Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、営業所）は何らかの改善が必要とされますか。（非常に必要・必要計/MA）

【企業側】

Q. あなたがお勤めの会社では、何らかの改善が必要とされますか。（非常に必要・必要計/MA）

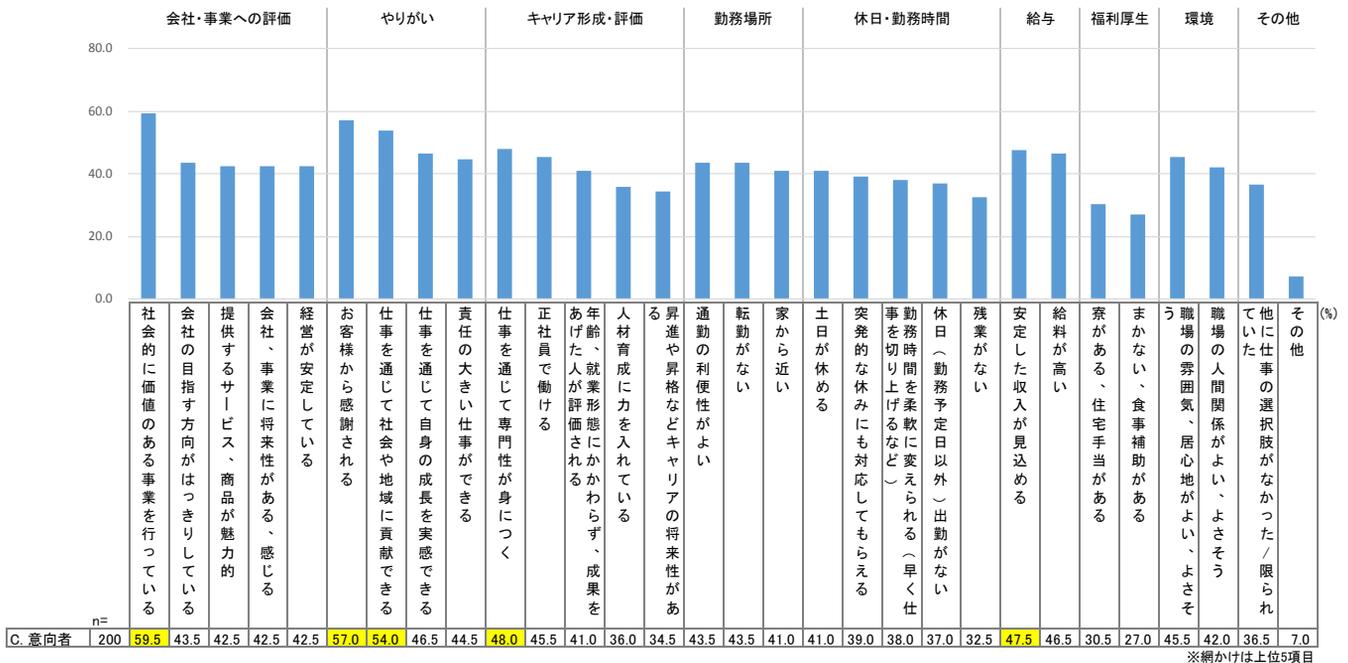
5. 意向・非意向の理由

C. 意向者、D. 非意向者

ドライバーとして働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。

理由として多く挙げられたのは、会社・事業について「社会的に価値のある事業を行っている」、仕事のやりがいについて「お客様から感謝される」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」、キャリア形成・評価について「仕事を通じて専門性が身につく」、給与について「安定した収入が見込める」などである。

意向者が感じている良いイメージを、実際にドライバーとして働こうとしている人や働いている人も持ち続けるようにすることが、業界の状況改善につながるかもしれない。



【C. 意向者】

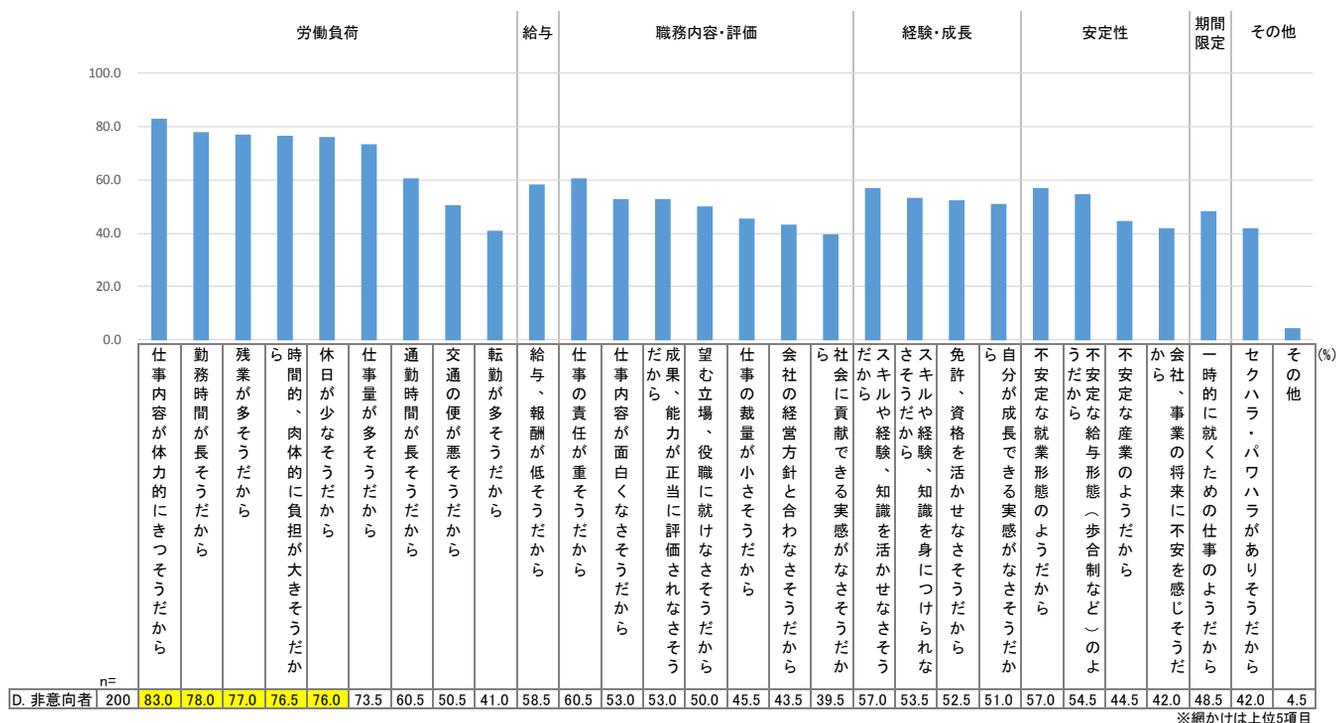
- Q. あなたが、「ドライバーの仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

5. 意向・非意向の理由

ドライバーとして働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。

もっとも大きな理由となっているのは労働負荷で、「仕事内容が体力的にきつそうだから」「勤務時間が長そうだから」「残業が多そうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」「休日が少なそうだから」が上位となっている。

この他に「仕事の責任が重そうだから」「給与、報酬が低そうだから」などの面で不安を感じている。



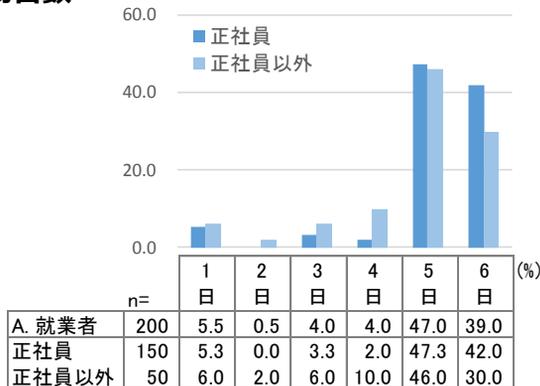
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「ドライバーの仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

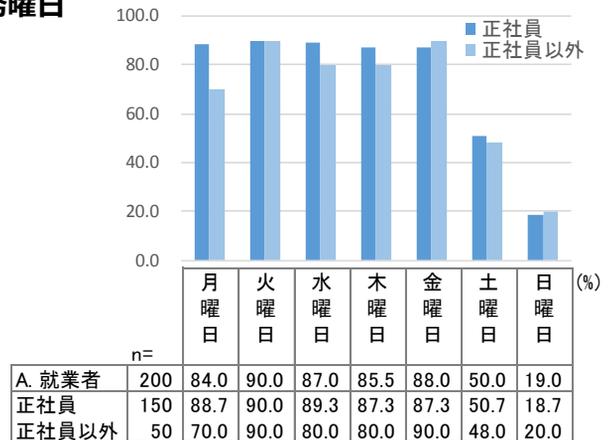
【参考】勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

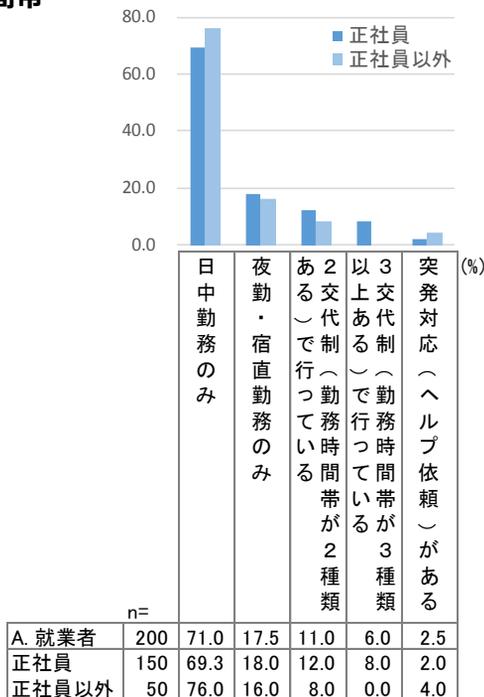
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



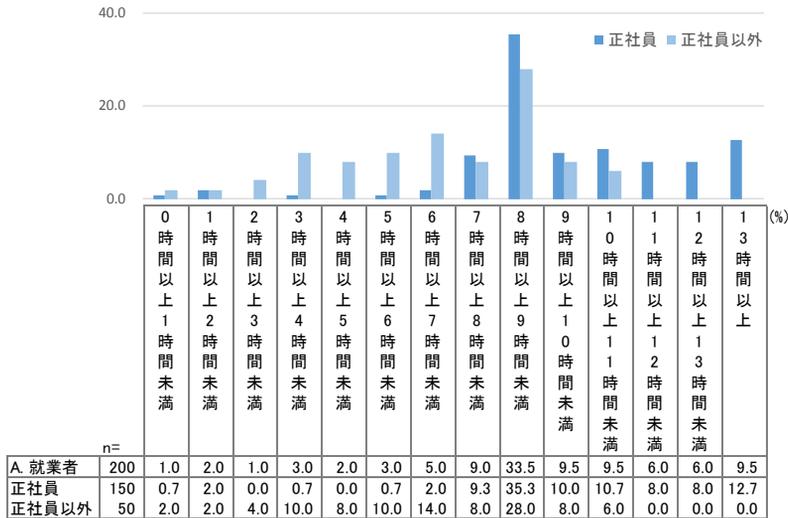
■ 勤務時間帯



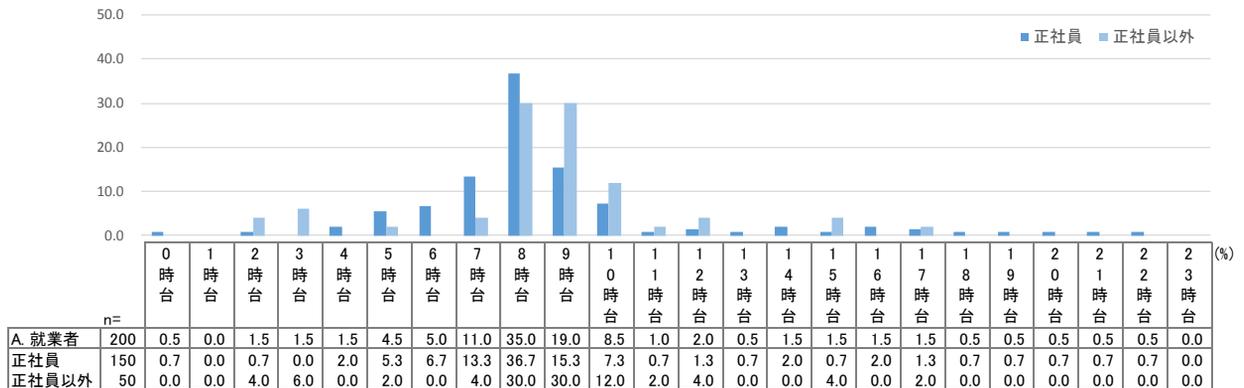
【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務日数をお知らせください。(NU)
- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務曜日をお知らせください。(MA)
- Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。(MA)

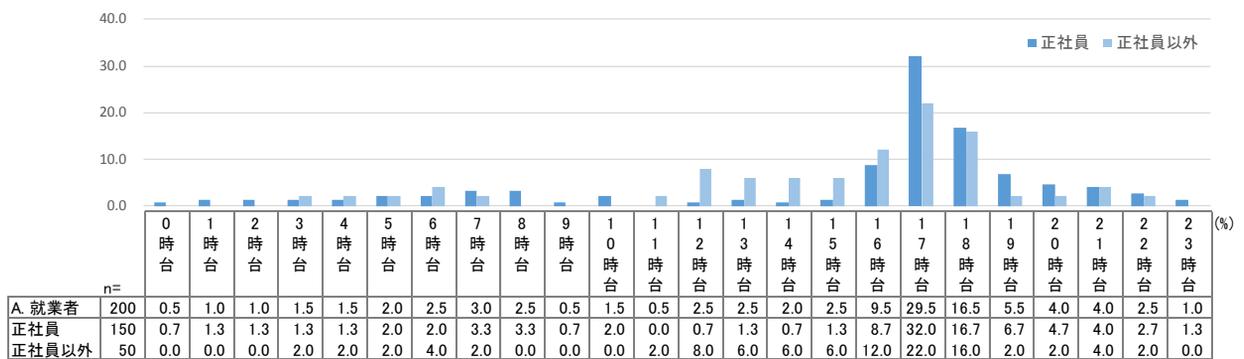
■ 1日あたりの平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）、1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（NU）
- Q. あなたがお勤めの会社の代表的な（よくある）1週間の勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に記入してください。／パターン1（NU）